

なかしゅんべつ

農協と組合員をつなぐ広報誌

謹
賀
新
年




JA中春別

新年号

2016 Vol 456

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

平成二十八年元旦

代表理事組合長 小湊 保

副組合長理事 藤倉 紀夫

専務理事 佐藤 猛

常務理事 大山 武永

理事 (総務経済委員長) 望月 英彦

理事 (営農生産委員長) 西川 寛稔

理事 伊藤 一吉

理事 遠藤 均

代表 山崎 浩二

代表 平井 真一

監事 荒 青史

監事 (員) 紫藤 正幸

外職員 一同

中春別農協農対策協議会会長

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協青年部部長

兼松 真武 外部員一同

中春別農協女性部部長

齋藤 道子 外部員一同

中春別農協良質生乳生産

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産

伊藤 一吉 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全

西川 寛稔 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

竹田 潤 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

小湊 保 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同



新年のごあいさつ

JAへの結集と 事業を積極的に推進

中春別農業協同組合 代表理事組合長 小湊 保

新年明けましておめでとうござい
ます。

平成28年の新年を迎え組合員並
びに御家族の皆様へ謹んでお慶び申
し上げます。

昨年を振り返りますと、国内経済
は金融緩和積極財政を継続しており、
輸出関連産業を中心に過去最高の
収益をあげ、景気全体は回復傾向に
見えますが、消費税増税の影響、賃
金の低迷があり、地方経済や我々酪
農においてはその効果が未だに実感
が無いところです。

酪農を取り巻く情勢ですが、国会
決議の遵守と情報開示や幅広い国民
的議論を深めるよう政府に求めて参
りましたが、昨年10月5日に12万国
とのTPP交渉が大筋合意された事
は強い憤りを覚えております。

今後、国会審議される中、決議の
整合性と国民に対し説明責任を果
して頂くとともに、政府より示され
た自立可能な経営と国際競争に耐
え得るよう緊急恒久的対策と万全
の予算措置の対応を求めて参らねば
なりません。

また、一昨年6月に政府は規制改
革実施計画を決定し、昨年2月には、
准組合員利用規制や公認会計士の
監査義務付、全中の一般社団法人化
等農協改正法が示されました。見直
しにあたりJAグループ北海道の自

己改革プランの推進と農協改革は、
組合員の所得向上、地域の活性化、
豊かな地域社会を目指し自らの意
思で行う事を基本としております。

こうした中、加工原料乳生産者補
給金単価は12円90銭となり乳房炎
対策、用途別加工乳等を合わせると
13円25銭相当となりました。交付対
象数量は2万トン減の178万トン
となり、更には生産基盤強化対策費
として5億円が措置されました。

一方、用途別原料乳単価は3円60銭
の引上げとなり1年平均で95円強の
プール乳単価となりました。加えて乳
雄、F1、廃用牛の高値安定もあり、
経営の収支改善に向けては良い1年
でありました。平成28年度の酪農畜
産政策、価格対策は現段階(12月11
日)では決定されておりませんが、持
続可能な酪農経営の確立と酪農生
産基盤の強化の観点から、生産現場
の実感を反映した補給金単価を適
切に設定する事と、交付対象数量に
ついても適正水準で設定するよう求
めております。また、畜産クラスタ
ー事業は需要が満たされない状況の
中、速やかな基金化、予算の充実確
保と家族経営を中心とした中小規
模層も対象とし、将来的に巨り計画
投資が可能となるよう求めていると
ころです。

昨年度の牧草収穫の1番草は比較

的天候にも恵まれましたが、2番草収穫期は不順な天候が続き、収穫作業は苦勞をした所ですが、量質的にも平年並みに終了しております。しかしながら厳冬期においての度重なる暴風雪、大雪、夏の集中豪雨、秋には爆弾低気圧、台風の接近があり施設をはじめ農道、改良地の土砂の流出等の被害が多数発生し、災害の多い1年でありました。改めて被災された組合員には心よりお見舞いを申し上げます。

昨年3月末に、新たな食料農業農村基本計画及び酪農肉用牛生産の近代化を図るための基本方針が示され、食料自給率は45%また、10年後の目標乳量750万トン、乳牛飼養頭数133万頭などの数値となっております。特に現状課題である担い手、牛、飼料を克服するための畜産クラスター事業活用と、他の施策等を講じながら達成する内容となっております。

昨年度は、農協法改正、T P P交渉の大筋合意等国内外に情勢変化の激しい1年でした。本年度は先行不透明感のある中、直面する課題に対し各関係組織の役割発揮と目的意識を持ち、一層のJ Aへの結果を図り、収益力向上に向け積極的に事業推進をして参ります。現在、第10次中期経営計画の策定と、新たな地域

振興計画の樹立に向け、精査しながら協議を重ねており、概要は昨年秋季に開催致しました地区別懇談会に説明をさせていただいたところです。特に畜産クラスター、地域振興計画にあたっては、全組合員を対象に今後の経営の方向性などを意向調査を実施し、それに基づいた中で組み立てております。

畜産クラスター事業は、各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取組みにより、生産基盤の拡大と生産性向上を図り収益力向上実現に向けて推進して参ります。加えて、今後6年間の経営の方向性、後継者、飼養管理形態、担い手確保等の意向調査を踏まえ、各支援組織の充実と強化を進め、さらに共和育成牧場においては、新たに生乳生産事業の取組と、担い手確保のための研修事業を含め、法人化へ移行すべく取り進めているところでありま

す。今後、懇談会等でより詳細に内容を説明して参りますので組合員をはじめ、各組織の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年度も、組合員、御家族の皆様にとりまして、平穩で実り多き1年でありませうと祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

平成28年の 年頭にあたり



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありました。全体的にはおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第です。

さて、昨年の11月11日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、

守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がなままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年(さるどし)です。一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことであります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

新年のご挨拶

消費者に信頼される事が 中春別の未来へと繋がる



中春別酪農対策協議会 会長 西川 寛稔

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え会員並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに過ごしの事と謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より当協議会の事業に対しまして特段なるご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の酪農情勢を振り返りますと、用途別原料乳価についてはプール乳価で3円60銭(税込み)の値上げとなり農協平均では95円を超え、畜産物価格についても年間を通して高値で推移したことから農家所得向上へとつながりました。一方、天候は春先の記録的な大雪や10月の大型台風などの異常気象にみまわれ、牛舎・ハウス・住宅など地区内で大小あわせると200棟を超える被害件数が報告されており、被害に遭われた会員の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は国の酪肉近計画の大綱をはじめ、根釧酪農ビジョン・JAGグループ北海道の将来ビジョン等々の施策が提案され、北海道の生乳生産目標を400万トンとして多様な形態の担い手を育成し、粗飼料基盤の確立、釧路港ハブ化による配合飼料コストの低減に努めると共に地域ブランド化による付加価値を高め、農業所得20%増大を目指すがあります。国際貿易交渉では、日豪EPAが昨年1月に発効され、10月5日のTPP協定交渉大筋合意を受け、11月25日に総合的なTPP関連対策大綱が農林水産省から発表されましたが、我々酪農家の不安を払拭できる内容に至っていないことから、今後、益々丁寧な説明と協議を求めてまいります。

昨年の酪対活動につきましては、7月と11月の2度

にわたり、道内選出国会議員並びに農水省生産局との意見交換をはじめ、施策提案を積極的に行いながら情報収集に取り組みました。また、11月には北海道農政部に出向き、担い手対策並びに基盤整備事業・畜産クラスター関連事業に対する生産者の声を直接届ける活動を展開し、消費拡大運動については、女性部、青年部の消拡運動に協賛させて頂きました。

本年度の生乳生産目標については、第9期生乳安定生産対策(北海道生乳生産基盤安定供給強化対策)の中で前年度実績103%を基本とし、生産意向数量を生産目標数量に設定する事となり自由に目標数量が設定できる反面で、自己管理能力が求められる内容となっております。

国際化の中で先行き不透明ではありますが、酪農専業地帯の中春別として恵まれた広大な牧草地で良質な粗飼料を生産し、十分なホル資源の確保、輸入乳製品に対抗できる良質な製品の生産販売により消費者に信頼をいただく事がJAG北海道大会のスローガンである北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現、さらには中春別酪農の未来につながると考えます。

本年度も、地域の実情を伝え不安が少しでも解消され生産確保と所得政策の安定が図られるよう、関係団体とも連携をしながら継続的な運動を展開して参りたいと思っておりますので引き続き、会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に皆様が御健勝で豊稔の秋を迎える事が出来ますよう心からご祈念申し上げます。頭のご挨拶とさせていただきます。



中春別農協青年部 部長 兼松 真武

新年、明けましておめでとうございます。

当青年部に対しましては組合員をはじめ、農協や関係機関の皆様には日ごろよりご理解、協力を賜りますことを心より御礼申し上げます。



中春別農協女性部 部長 齋藤 道子

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しましては、農協をはじめ、各関係機関の皆様には、多大なるご指導、ご協力を賜

新年のご挨拶

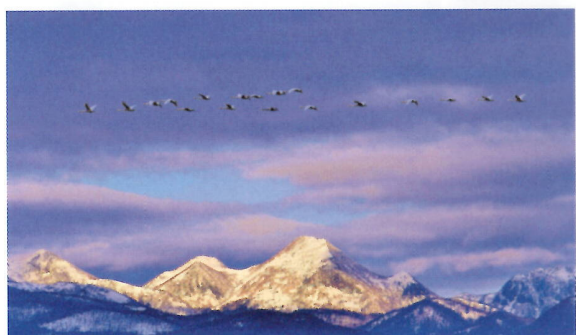
若い力で何事にも

チャレンジ精神を持つ

昨年を振り返りますと、乳価の値上げ個体販売価格が高値で推移し、配合飼料価格や燃油等の値下げがあり営農には明るい話題が多い年でしたが、10月にはT P P交渉が大筋合意し今後、どのような影響が出るのか不安なところではあります。そのような状況の中、青

年部では様々な事業に取り組んで参りました。道東あさひ青年部と夏の牛乳消費大作戦と題して消費拡大運動を行い、9月に新企画の中心、予想よりも多くの来場者にていただきました。また、11月の農水省職員との意見交換を行い若手農業

者ならではの思いを伝えてきました。恒例となりました女性部合同でのお歳暮ギフトも過去最高の注文数をいただき皆様のご協力に心より御礼申し上げます。平成27事業年度も残すところ3カ月あまりとなりました。これからも青年部一同、一層気を引き締めて各活動に取り組んで参りますので、皆様方におかれましては今後ともご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。新年の挨拶とかえさせていただきます。



きます。

新年のご挨拶

豊かで暮らしやすい地域づくり

り厚くお礼申し上げます。

昨年の北海道農業は、農家戸数の減少や高齢化が加速する中、たび重なる台風による被害、生産資材・機械代価格の高騰と、また、T P P大筋合意、細かい内容についてはまだわからないことがたくさんあります。今の段階でどのような影響があるのかは判断できず懸念や不安が払拭されたとはいえません。輸入が増えるこ

とで食品の安全が確保できるとかどうか、深刻な問題となっており、昨年11月にJ A北海道大会に女性部より2人参加しT P Pの説明とJ A改革について勉強させていただきました。また、農水省への要請にも女性部より2人参加し、意見交換させていただきました。消費者の信頼に応え安全・安心な国産畜産物を将来にわたって安定的に供給できる

ように地域農業を支えられるようみんなが助け合い、豊かで暮らしやすい地域づくりができる女性部であるよう心をつとめて頑張りたいと思います。勉強会・研修旅行・牛乳乳製品の消費拡大運動、青年部とお中元・お歳暮作り、共進会で好評のミルク豚汁、収穫祭でのミルクシチューなどの各行事活動をしながら心癒されるフラワーアレンジメントをしたり、花寄せ植え・花壇作り・お菓子作りなどいたしました。それぞれが仕事・家事・育児・介

護などで忙しい中、女性部の活動に参加していただきましてありがとうございます。今後も交流を深め、女性パワーを発揮し、厳しい時代を乗り越えることのできるJ A女性部組織を目指して取り組んで参りたいと思っております。本年も私達女性部はより一層活発な組織活動を展開して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。新規加入も宜しくお願い致します。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。



新年のご挨拶

育成管理技術の更なる向上を

中春別乳牛改良同志会 会長 竹田 潤

新年あけましておめでとうございます。

平成28年度の新春を迎え、健やかにお過ごしのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より当同志会の事業に対しまして、農協をはじめ各関係機関の皆様にご多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りましてと粗飼料は異常気象の中ではありますが、量、質ともに充分確保出来ました。また、生産資材の高止まりはありますが、乳価、個体販売ともに好調に推移しており、今後も恒久的な対策を望むところでもあります。そのような中、同志会では安定的な酪農経営を図る為、乳牛改良技術の向上を目的に取り組みで参りました。

昨年の活動と致しまして、酪農技術の見聞を広げ優れたスキルを習得する「視察研修」の開催、中でも育成管理技術の更なる向上に重点項目とし情報交換、視察の開催、長命連産に優れた能力と体型のバランスの取れた改良を目的とし、関心を深めていただけるよう組合だより「なか

しゅんべつ」の紙面上において写真コンテストの開催を致しました。

また、管内、北海道各協議会事業にも積極的に参加し、多くの会員が乳牛改良の知識、技術を深めて参りました。そのような活動が実を結び、新規エクセレントも獲得し、共進会においても素晴らしい成果を収めることが出来ました。

根室ホルスタイン共進会においては、ジュニアチャンピオンを獲得し、北海道ホルスタインショナルショウにおいては根室管内最多の13頭が出品され内9頭が入賞しました。また、昨年は10年ぶりに全日本ホルスタイン共進会が盛大に開催され、視察を通じて多くの事を学びました。

本年も根釧地域に適した酪農経営を目指し、各種事業を展開して参りますので引き続き会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって充実した一年であります事をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

平成27年 新規EX獲得牛 累計220頭



アドミラル ファインリー ファイナル カットT
No.0258510085 H21.5.15生
EX-90 (5-09)
4-04 305 M11,489kg F3.7% P3.1% SNF8.6%
父:ジレット ファイナル カット ET
母:ミルク エイト ファインリー サルーン
所有者:目黒 雅明



アブリテイファーム アシユレイ ピーターチエ
No.0336708700 H22.11.6生
EX-90 (4-04) 6代EXおよび姉妹EX
3-01 305 M10,115kg F4.0% P3.4% SNF9.0%
父:ゴールデンオークス ガーデット ET
母:アブリテイファーム アクトレス ピーターチエ EX-91
姉:アブリテイファーム ジャスミン ピーターチエ EX-91
祖母:アブリテイファーム ストーム ピーターチエ EX-92
曾祖母:アブリテイファーム リンディ ピーターチエ EX-90
アブリテイファーム ポテント ピーターチエ EX-92
アブリテイファーム クリス ピーターチエ EX-91
所有者:橋本 幸二

おいしいおまんじゅうができましたよ！

趣味の会
まんじゅう作り

趣味の会まんじゅう作りが12月1日に開催されました。小麦粉とバターを混ぜて生地を作るのは手が冷たい人が行うほうが良いそうで、理由は「手が温かい人だと生地がベタベタになってしまつて上手にまとまらなくなつてしまうため」だそうです。生地を練り、あんを包むのですが、あんによつてはやわらかいため生地からはみ出してしまいますが、個数をかさねるとやわらか

いあんも綺麗に包めることができました。卵黄を塗って焼いた後は調理室にておいしい匂いがたちこめて食欲をそそります。
あんと生地がベストマッチして絶品のまんじゅうは、白あん・うぐいすあん・紫芋あん・かぼちやあんを合計400個作り参加者の皆さんで分け合いました。家族に良いお土産ができた参加者の方々は笑顔で調理室を後にしたのでした。



クリスマスにピッタリのリースが
できあがりしました！ 第43回別海町酪農女性の集い



第43回別海町酪農女性の集いが、12月9日に別海町中央公民館にて開催され、『まあく作つて飾つて楽しい住まいを』をテーマにクリスマスリース作りを行いました。長い状態のクラフトテープを伸ばすところから始まるのですが、数メートルあるクラフトテープを伸ばし、編んでいくのはなかなか大変です。2本のクラ



フトテープを編みこんでいくと押えている手が痛くなつてきます。この痛さに耐えながらリースを完成させ、リボンや鈴などを付けて色合いもかわいいクリスマスリースができあがりしました。クリスマスにはお部屋を華やかにしてくれることでしょう。

お歳暮オリジナルギフトお礼と結果

去年の最高注文総数を超えた336セットが全国各地に発送されました！

青年部・女性部合同

今回も青年部・女性部合同お歳暮オリジナルギフトの取りまとめの後、12月8日(火)に(株)べつかい乳業興社様のエントランスホールをお借りして発送作業を行いました。発送作業には青年部・女性部併せて17人が集まり、一つ一つ真心を込めて丁寧に梱包作業を進めて全国各地に向けて発送されました。今年度はなかしゅんミルクロールセット、乳製品セット、乳(ミル)ほた餃子セット、中春別産和牛セットの4セットを作成し、地区内の各家庭に訪問しチラシを配布しました。

各セットの結果は、なかしゅんミルクロールセット96セット、乳製品セット91セット、乳(ミル)ほた餃子セット133セット、中春別産和牛セット16セット、合計336セットの注文を賜りまして皆様のご協力で、

過去最高セット数を発送することができました。

来年度以降も皆さまに喜んでいただけるようなオリジナルギフトセットづくりを目指していきますので、これからもご協力の程よろしく願いいたします。



青年部、女性部が協力して過去最高の注文数を全国へ発送

第31回 未経産クラス **ホルスタイン** 写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)主催で行いました第31回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けをオールジャパンリーダーズサービス(株)代表取締役社長・高橋忠司さんをお願いし、**正解は、B→A→E→C→F→D**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、荒瀬實子さん、高橋空さん、中尾快飛さん、荒瀬理さん、藤原誠さん、永洞法子さん、井上菜々さん、川村柚月さん、佐々木舞子さん、中尾みどりさんに賞品を贈呈致しますのでJ A中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

講評

今回の未経産クラス6頭ですが、上位と下位2つに分けてみました。

上位牛はA・B・Eと下位がC・D・Fとなります。その理由は胸の強さ、肋の深さ、あるいは全体的なバランスを見た場合このように分けられると思います。

序列は、B→A→E→C→F→Dの順とさせていただきます。

トップにしたB牛ですが、非常に体全体のバランスが良く、頸から肩、中軀への移行が滑らかです。2位にしたA牛と比較しますと、B牛の方が顔の輪郭が鮮明で品位があり、

肋の張りにおいて優っています。また尻の構造もよりB牛の方が望ましいと判断させていただき、体長があり移行のスムーズな乳用性に優れた牛を上位とさせていただきます。

A牛とE牛の比較ですが、A牛の方が頸は長く移行がスムーズです。またA牛の方が肩の締りが良く、体長があり肋間が広く肋の方向もE牛より望ましいと判断しました。

E牛とC牛の比較ですが、E牛の方が明らかな胸の深さや胸底の幅において優っています。また、肋が深く体全体の強さにおいても優っていましたので、乳用性に優れた体長のある牛を上位にしました。

C牛とF牛の比較ですが、非常に接近していました。最終的にC牛を上位としましたが、C牛の方がより肩が締まっていて肩後の移行が滑らかです。また坐骨の位置や後肢の構造において、特に飛節の角度においてC牛の方が望ましいと判断しました。

最後にF牛とD牛の比較ですが、F牛の方がより頸が長く薄く中軀の伸びがあります。また、全体的なスタイルとしてF牛の方がより優れていましたので、各部位の正確な非常にまとまった牛を上位とさせていただきます。

ありがとうございました。

1位B



2位A



3位E



4位C



5位F



6位D



乳検データの活用

乳量階層区分から分かること

乳検データは、牛の健康状態を反映する基礎情報として活用されています。なかでも、牛群成績表は、自分の牛群の現状を客観的に把握するために用います。牛群成績表は、検定した日からのタイムラグや、飼養頭数によっては数値の偏りが目立つたりするため、データの解析に若干のコツが必要です。

今月は、牛群成績表の左下にある乳量階層区分表の活用法について解説します。

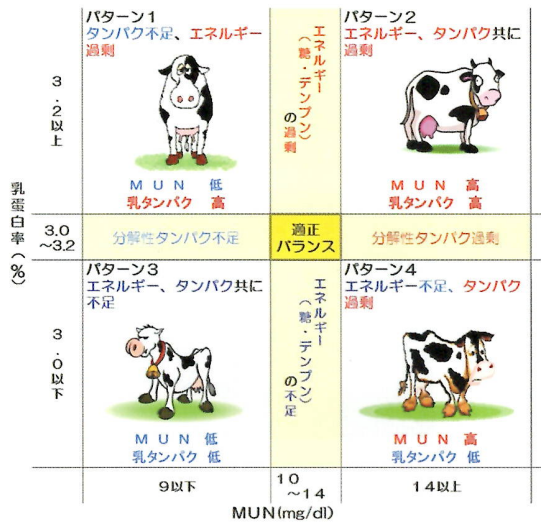
1 乳量階層区分表の追加項目

平成25年に乳量階層区分表に追加された項目として、乳中尿素素素(MUN)とP/F比があります。

MUNは、乳牛が摂取し過剰となつてしまったタンパク質を推定するために用います。

概ね10〜14mg/dl程度が適正値とされていますが、飼養体系や給与飼料の違いなどにより、適正値は牛群ごとに異なる傾向があります。乳

図1 MUNと乳タンパク率の関係



タンパク率と照らし合わせて、牛群にとつてベストな栄養バランスを検討しましょう(図1)。

P/F比は、乳タンパク率と脂肪率の比率から算出されます。ルーメン発酵などの状態を推測するため用いますが、80〜90の範囲内であれば適正とされています。

数値が逸脱している場合、ルーメン内の異常や肝臓への負担が疑われます。牧草品質の急変によって、数値が動く傾向があるため、飼料の切り替わり時にチェックする数値として有効です(図2)。

図2 P/F比利用の目安

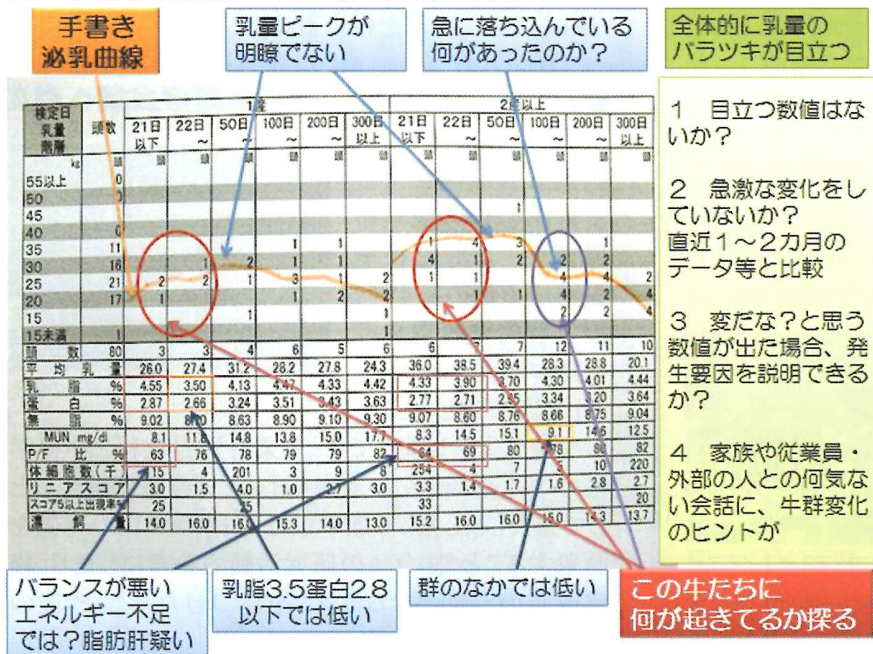
P/F比	利用の目安(牛群)
90超	デンプンなどの過剰、牧草の不足、不良牧草給与(注)顕著な個体では、ルーメンアシドーシス疑い
80〜90	適正
80未満	エネルギーの不足(注)顕著な個体では、ケトosis・脂肪肝疑い

朝と晩では乳成分が変動するため、注意が必要です。

2 泌乳曲線を描いてみよう

乳量階層区分表は、産次数と分娩後日数によつて区分され、表内の頭数と平均乳量を参考に大まかな泌乳曲線を描くと、当月における牛群の産乳実績が

図3 乳量階層区分表(デモデータ)による模擬解析の例



見えてきます。赤鉛筆を用いて、軽いタッチで描いてみましょう。教科書等でよく見かけるようなカーブを描く牛群が理想ですが、描いた曲線が極端にいびつになる場合は、その理由を考えてみる事により、隠れている牛群管理改善のヒントを見いだす事ができます(図3)。



●【経営科】カナダ酪農を視察!

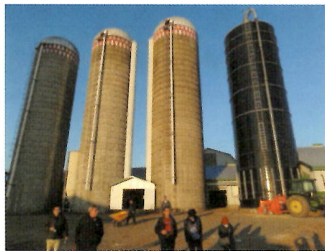
11月9日(月)、平成27年度の海外視察研修を実施しました。昨年度から視察先をカナダに変更し、今年は3軒の牧場と、ローヤルアグリカルチャ



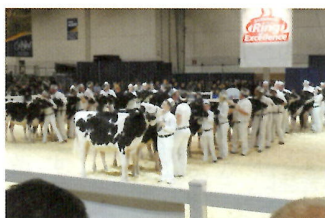
フレ牧場

ルウインターフェアを視察しました。視察した酪農家はいずれも整備が行き届いて正に『舐められるくらいきれいな牛舎と牛』ばかりでした。視察した3軒の牧場はそれぞれ特徴があり、管理方法や乳牛改良への取り組みは参考になるものばかりでした。1軒目のBOULET FARMは生乳よりも個体の売買をメインとして経営している牧場ということで、視察当日も4頭売却

され、新たに5頭を導入するというほどでした。2軒目のFERME PETITCLERC HOLSTEINは施設に工夫が多く見られ、寒冷で豪雪地帯であ



るため牛床が飼槽と比べ、深く作られていました。また、妊娠牛の牛舎にはカメラが設置されており、スマートフォンでいつでも状況が把握できるようになっていました。3軒目のFERME JACOBS INCも、1軒目のBOULET FARMと同様に個体の売買を盛んに行っていました。利益を上げるため、ショーで活躍する牛作りを念頭に置いて繁殖を行っているとのことでした。ローヤルショーでは様々な家畜のコンテストなどと共に世界に名高いホルスタインショーを見学しました。会場は見学者であふれており、大阪と同程度の人口の町で大規模な会場を使つてのショーに農業国カナダのすごさを感じさせられました。出品牛はどの牛も素晴らしく、日本の牛よりも大きいだけではなく、尻や肋腹の構造に大きな違いがありました。また乳器も幅、高さとも素晴らしく、更にその牛たちを引き立たせる出品技術にも圧倒されました。更に驚かされたのはセールでの牛の価格です。セールオブスターズのトップセールがなんと1,700万円ということで、遺伝子がビジネスとなる



ローヤルショーのラインインナップ

1,700万円ということで、遺伝子がビジネスとなる

カナダ酪農をここでも実感させられました。研修期間中は比較的好天に恵まれ、酪農視察の他にもナイアガラの滝やケベックシティの見学もできました。今回は学校単独ではなく、酪農家の方や授精師の方とご一緒させていただきましたが、どの方にも大変親切にいただき恵まれた研修を送ることができました。ご支援いただきました別海町、別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)ならびに関係者のみなさんに心からお礼申し上げます。

●【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月30日(月)修了研究活動発表会が実施されました。学生達が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組みました。



学生発表の様子

今年度は、「我が家の暑熱対策について」、「乳房炎の発生状況からのプロトコル作成」、「大きく育てよう」と題して3つの発表がありました。それぞれ、牛舎の暑熱対策や乳房炎対策、子牛と育成の飼養管理について、年間プロジェクト計画に沿って実践した内容を発表し、関係機関から6人の講師より、様々な視点から助言やご意見を頂きました。専攻科を修了してからもご助言いただいたことを参考に、今後の経営改善に継続して取り組んでほしいと思います。

また、今回発表しなかったニュージーランド研修を終えたばかりの3人についても、草地更新の検証や、分娩前後の体温の変化を探ることでの効果について、また、TMRの調査などの修了研究活動について、取り組んできた成果を報告書にまとめる予定です。

また、今回発表しなかったニュージーランド研修を終えたばかりの3人についても、草地更新の検証や、分娩前後の体温の変化を探ることでの効果について、また、TMRの調査などの修了研究活動について、取り組んできた成果を報告書にまとめる予定です。

●【専攻科】根室管内青年農業者会議へ参加

12月10日(木)に根釧農業試験場にて根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第41回根室管内青年農業者会議が開催され、学生11名が参加しました。



プロジェクト発表の様子

プロジェクト部門では、農業特別専攻科2年目学生の中西裕哉さんが別海4Hクラブ連絡協議会員として発表しました。参加学生は4Hクラブ員の発表を聴衆することで、今後の研究活動の参考にしたり、経営改善の一助となるヒントを見つけたりと、今後の糧となった様子でした。

2016年度
学生募集

根釧酪農郷からの出発

北海道別海高等学校農業特別専攻科



- ・海外酪農研修が履修できます(希望者)。
- ・青年就農給付金(準備型)制度対象校です。

昨年まで、農業法人に勤務しながら、農業特別専攻科で学びました。将来の新規就農の夢に向かって頑張ります。
別海町法人従業員

H26年度卒 大阪府出身 佐野史生さん



農業特別専攻科の特色

- ・18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で農業の理論を学ぶ2年生の過程です。
- ・牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

入試日程など入試日程等(1次)
募集人員20名 修業年限2年間

- ・願書受付
平成28年1月12日(火)から
平成28年1月25日(月)正午まで
- ・検査日…平成28年2月4日(木)
- ・合格発表…平成28年2月12日(金)
- ・検査内容…作文および面接
- ・願書配布
平成27年11月30日(月)から

年度始め納入費

- ・学費や授業料など…………… 45,550円
 - ・後援会・学友会費など………30,450円
- 合計76,000円
※平成27年度入学生初年度

実習先農家条件(例)

- ・3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代(3~4万程度)支給。
- ・親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。
働きながらの通学
- ・正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。



資料請求・お問い合わせ

別海高校農業特別専攻科まで
〒086-0214
北海道野付郡別海町別海緑町70-1
TEL(0153)75-2053 FAX(0153)75-2263
Email.bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp

子供が待ちわびていた
ミルク王国からのプレゼント！

豊原へさち保育園と中春別へさち保育園で12月11日(金)、ミルク王国の王様から少し早めのクリスマスプレゼントが園児達に贈られました。

子供達は「早く来ないかな」と胸を躍らせていたその時、赤くマントを羽織り大きな王冠を被った王様が玄関に到着しました。王様からは「みんな毎日牛乳を飲んでますか？」と質問すると「飲んでます！」と元気いっぱいな返事が返ってきました。

王様とのお話の中では「王様は何歳ですか？」という無邪気な質問に「何歳にみえるかな」と聞くと「んん50歳くらい？」と男の子の園児が答えると「王様は今、81歳です」と答えると想像を超えていたのか「えー!! すごい! どうしてそんなに元気なんですか?」と言うと「牛乳を飲んで、チーズとヨーグルトも食べて、野菜やなんでも好き嫌いせずに食べているからなんだよ、みなさんお母さんが作ったものを残さずちゃんと食べてますか?」と問いかけると、「は



「いい!」と大きな声で返事をしていました。

最後に「みなさんに王様からプレゼントがあります」と言うと、子供達は一列に並んで一人一人にヨーグルトと自由帳とペー
ンが手渡されると「ありがとうございます」とお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言ってお礼を言

12月号掲載の「平成27年度 年末・年始の業務日程表」訂正とお詫びのお知らせ

1/3(給油・配送) 1/4(給油のみ)となっていましたが、正しくは1/3(給油のみ) 1/4(給油・配送)の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

1/3(日)	1/4(月)	1/5(火)	1/6(水)	1/7(木)
9時～15時 (給油のみ)	8時～17時 (給油・配送)	8時～17時 (給油のみ)	平常業務	御用始

11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支乳 乳価	前 同 期	差		
乳	脂	肪	分	905.353		36.67	35.09	1.58	
無	脂	乳	固	573.911		50.65	48.72	1.93	
補	給	金		4.1497		4.15	4.01	0.14	
計	画	チ	ー	1.7142		1.71	1.72	-0.01	
乳 質 単 価	生 菌 数	ラン	ク	1	2	297,553,553.1kg	3.77	3.76	0.01
		ラン	ク	2	0	5,129,971.5kg			
		ラン	ク	3	-3	74,620.4kg			
	体 細 胞 数	ラン	ク	1	2	265,196,413.2kg			
		ラン	ク	2	1	20,754,348.3kg			
		ラン	ク	3	-2	2,720,814.9kg			
合 計					96.95	93.30	3.65		

11月分乳代支払単価

項 目	単価(円)/kg%	
乳 脂 肪 分 ①	36円67銭	
無 脂 乳 固 形 分 ②	50円65銭	
補 給 金 ③	4円15銭	
チ ー ズ 奨 励 金 ④	1円71銭	
脂 肪 率	全 道	4.05%
	農 協	4.12%
無 脂 固 形 分 率	全 道	8.83%
	農 協	8.77%
成 分 乳 価	全 道	93円18銭
①+②+③+④=⑤	農 協	91円73銭
乳 質 乳 価 ⑥	全 道	3円77銭
	農 協	3円77銭
乳 代 合 計	全 道	96円95銭
	農 協	95円50銭
⑤+⑥	差 異	-1円45銭

関連会社より新年のご挨拶

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成28年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



有限会社 中春別マシンセンター

代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278



謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます
本年もご愛顧の程お願い申し上げます

平成28年 元旦

- 支援農作業の一切



WAMP (有)ジェイエー・ワンパ

代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成28年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階
TEL・FAX(0153)76-3383





「十二支・さるの由来」

十二支の9番目の干支が「申」です。
申年の申は本来「しん」と読み、「のびる」や「もうす」という意味があります。
申は「雷」の原字であり「稲妻」を表した象形文字で、神の技と言う意味もあります。
干支の申は猿とは関係のないものでしたが、申には動物の猿が割り当てられることとなりました。
申には病や厄が「去る」と云われもあり縁起の良いものとして神社などで祭られるなどしています。
また、サルとイヌは中が悪いから鳥が間に入ったという話も言い伝えられていたり面白い逸話もあります。

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。組合員並びにご家族の皆様におかれましては健康やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読と取材の協力をいただきましてありがとうございます。今年も地域の話題を取り上げる、皆さまに読んでいただける「農協と組合員をつなぐ広報誌づくり」を目指しております。

皆さまからの情報をお待ちしておりますので、小さな事でもお気軽にご連絡いただければと思っております。

降雪シーズンを迎え交通事故のニュースをよく見ますが、車の運転と体調管理には十分に気を付けてお過ごしください。

本年も皆さまにとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

